

自己紹介⑪

坂和年表 2024 —75 歳の年表から何を？—

	坂和プライベート	日本の主な出来事	世界の主な出来事	都市問題、法律関係	映 画
1945(S20)年		・1945(S20)年 8 月 15 日 終戦		・1946(S21)年 10 月 29 日 日本国憲法制定 ・1947(S22)年 5 月 3 日 日本国憲法施行	・『風と共に去りぬ』(39 年) ・『東京裁判』(83 年)
1949(S24)年 【誕生】	・1949(S24)年 1 月 26 日 愛媛県松山市で誕生		・1948 年 8 月 15 日 大韓民国建国 ・1949(S24)年 10 月 1 日 中華人民共和国建国 ・1950 年～1953 年 朝鮮戦争		・『七人の侍』(54 年) ・『ゴジラ』(54 年) ・『十二人の怒れる男』(57 年)
1959 年(S34 年) 【10 歳】	・1956 年 4 月 小学校入学 ・1961 年 4 月 愛光学園中学入学 ・1964(S39)年 4 月 愛光学園高校入学 ・映画、囲碁、将棋	・1954 年 12 月～1973 年 11 月 高度経済成長(第 1 次鳩山一郎内閣～第 2 次田中角栄内閣までの 19 年間) ・1958(S33)年 12 月 東京タワー竣工 ・1959 年 9 月 伊勢湾台風 ・1960(S35)年 安保闘争、日米安保条約 ・1964(S39)年 10 月 東京オリンピック ・1968 年 12 月 三億円事件	・1953 年 7 月～1959 年 1 月 キューバ革命 ・1963 年 11 月 22 日 ケネディ大統領暗殺 ・1966 年～1977 年 文化大革命	・1962(S37)年 10 月 全国総合開発計画(一全総)(池田内閣)	・『Always 三丁目の夕日』シリーズ…昭和の良き時代 ・『ベン・ハー』(59 年) ・『キューポラのある街』(62 年) ・『クレオパトラ』(63 年) ・高倉健主演『唐獅子牡丹』(66 年)
1969 年(S44 年) 【20 歳】	・1968 年 4 月～1972 年 8 月連載 司馬遼太郎『坂の上の雲』 ・1967(S42)年 4 月 大阪大学法学部入学 ・1971(S46)年 3 月 大阪大学法学部卒業 ・1972 年 司法試験合格 ・1972 年～74 年 司法修習生(26 期) ・1974(S49)年 1 月 弁護士登録(25 歳)	・1969(S44)年 1 月 東大安田講堂事件 ・1969 年 3 月 よど号ハイジャック事件 ・1970(S45)年 大阪万博 ・1972 年 2 月 あさま山荘事件 ・1972 年 5 月 沖縄返還 ・1972 年 田中角栄「日本列島改造論」 ・1973 年 第 1 次石油ショック	・1969 年 7 月 20 日 アポロ 11 号月面着陸 ・1974 年 ウォーターゲート事件	・1969(S44)年 5 月 新全国総合開発計画(二全総)(佐藤内閣) ・近代都市三法の制定(1968(S43)年 都市計画法全面改正、1970(S45)年 建築基準法大改正、1969(S44)年 都市再開発法制定) ・1974(S49)年 国土利用計画法の制定 ・1977(S52)年 11 月 第三次全国総合開発計画(三全総)(福田内閣)	・『男はつらいよ』(69 年)…寅さん第 1 作目 ・1970 年代 日活ロマンポルノ ・『砂の器』(74 年)
1979 年(S55 年) 【30 歳】	・1979(S54)年 7 月 坂和章平法律事務所開設・独立(法曹ビル 202)(30 歳) ・1984(S59)年 7 月 事務所移転(第 5 大阪弁護士ビル 4 階)(35 歳) ・1985 年 3 月 事務所拡張(第 5 大阪弁護士ビル 4・5 階)	・1976 年 2 月 ロッキード事件 ・1979 年 第 2 次石油ショック ・1983 年 中曽根アーバンルネッサンス。規制緩和と民活路線 ・1986 年 大規模再開発のさきがけ「アークヒルズ」完成 ・1987 年 国鉄民営化で JR 誕生	・1985 年 9 月 22 日 プラザ合意(円高ドル安を誘導、円高不況) ・1986 年 4 月 26 日 チェルノブイリ原発事故	・1987(S62)年 6 月 第四次全国総合開発計画(四全総)(中曽根内閣) ・1988(S63)年 総合土地対策要綱閣議決定	・陳凱歌監督『黄色い大地』(中国・85 年)…ロカルノ・銀賞 ・張藝謀監督『紅いコリヤン』(中国・88 年)…ベルリン・グランプリ
1989 年(H 元年) 【40 歳】	・1988 年 12 月 事務所移転(アクセスビル 6 階)(40 歳) ・バブル時代はゴルフ、北新地、カラオケ	・1989(H1)年 土地バブルに伴う戦後最大の地価高騰 ・1989 年末 バブル崩壊 ・1989 年 4 月 消費税法施行(3%) ・1995(H7)年 1 月 17 日 阪神・淡路大震災 ・1995 年 3 月 20 日 地下鉄サリン事件	・1989 年 6 月 4 日 天安門事件 ・1989 年 11 月 9 日 ベルリンの壁崩壊 ・1990 年 10 月 3 日 東西ドイツ統一 ・1991 年 12 月 ソビエト連邦崩壊 ・1992 年～1995 年 ボスニア紛争	・1989(H1)年 土地基本法制定 ・1992(H4)年 都市計画法大改正(①住居系 3→7 に用途地域を細分化。特別用途地域の追加 8→10、②市町村マスタープランの創設、③地区計画に誘導容積型と容積適正配分型追加) ・1995(H7)年 被災市街地復興特措法制定 ・1995(H7)年 被災マンション法制定 ・1997(H9)年 密集市街地整備法制定 ・1998(H10)年 3 月 21 世紀の国土のグランドデザイン(五全総)(橋本内閣)	・侯孝賢監督『悲情城市』(台湾・89 年)…ベネチア・金獅子賞 ・『タイタニック』(97 年)…興行収入 1,800 億円

1999年(H11年) 【50歳】	・2000年8月 初の中国旅行(大連・旅順・瀋陽) ・2001年3月 事務所を自社ビルに移転(西天満コートビル3階)(51歳) →ホームページ開設。趣味のページで映画評論 ・2002年6月 シネマルームI出版。以降、2019年12月までに45巻 ・2007年10月 北京電影学院で特別講義 ・2008年3月 中国人の友人の紹介で、在日中国人作家・毛丹青と出会う	・2001(H13)年4月 小泉内閣発足 ・2003年1月 小泉内閣による「観光立国宣言」。来日観光客3,000万人	・2001年9月11日 世界同時多発テロ ・2008年9月15日 リーマンショック	・2000(H12)年 都市計画法大改正(都市化社会から都市型社会へ。32年ぶりの根本的改正) ・2002(H14)年 都市再生特別措置法制定。都市再生緊急整備地域を指定。民間都市再生事業計画を認定 ・2002(H14)年 マンション建替え円滑化法制定 ・2002(H14)年 構造改革特区法制定 ・2004(R16)年 景観法制定 ・2005(H17)年 国土形成計画法の制定(国土総合開発法からの大転換) ・2008(H20)年 歴史まちづくり法制定	・『金融腐蝕列島 呪縛』(99年) ・『山の郵便配達』(中国・99年)
2009年(H21年) 【60歳・還暦】～	・2010年1月 白内障手術 ・2011年7月 ノーベル文学賞作家・莫言(中国)と対談 ・2015年6月 北京電影学院“实验电影”学院賞の授賞式 ・2016年9月 直腸ガン手術(67歳) ・2017年11月 胃ガン手術(68歳)	・2009年9月 自民党から民主党への政権交代(鳩山由紀夫・菅直人・野田佳彦) ・2009年 裁判員制度開始 ・2011(H23)年3月11日 東日本大震災 ・2012年12月 民主党から自民党への再度の政権交代(野田第3次改造内閣→第2次安倍内閣へ) ・2014年～2016年 広島市土砂災害、御嶽山噴火、熊本地震、鳥取県中部地震 ・2015年5月 大阪都構想・住民投票→否決 ・2017年7月 都民ファースト・小池百合子都知事誕生 ・2017年10月 衆議院解散総選挙→自民党圧勝 ・2018年9月 第4次安倍第2次改造内閣 ・2018年 大阪府北部地震、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震	・2014年9月 2014年香港反政府デモ(雨傘運動) ・2016年 アメリカ大統領選(ヒラリーVS トランプ)→トランプ大統領就任 ・2017年10月 中国・第19回党大会。「習近平による新時代の中国の特色ある社会主義思想」を党規約に明記 ・2018年3月 中国・14年ぶりの憲法改正で国家主席の任期撤廃(習近平の長期政権へ)	・2011(H23)年 総合特区法制定 ・2011(H23)年 津波防災地域づくり法制定 ・2012(H24)年 災害対策基本法の第1弾改正 ・2013(H25)年 災害対策基本法の第2弾改正 ・2013(H25)年 復興法体系の成立と国土強靱化関連三法の制定、国家戦略特区法制定 ・2014(H26)年 空き家対策特措法制定 ・2014(H26)年 都市再生特別措置法の改正(立地適正化計画、都市機能誘導区域、居住誘導区域) ・2015(H27)年9月 安全保障関連法成立 ・2017(H29)年 民泊新法(住宅宿泊事業法)制定 ・2018(H30)年 所有者不明土地対策特措法制定 ・2018(H30)年 都市計画法の改正で用途地域に「田園住居地域」が追加	・『乱世備忘 僕らの雨傘運動』(香港・16年) ・『戦狼2』(中国・17年)が興業収入1,000億円 ・是枝裕和監督『万引き家族』(18年)…カンヌ・パルムドール賞
2019年(R元年) 【70歳・古希】		・2019(R1)年10月 台風19号 ・2019年10月22日 新天皇即位	・2019年5月～ 香港・逃亡犯条例改正案→大規模デモ		・2020年正月『男はつらいよ 50 お帰り 寅さん』
2020年(R2年) 【71歳】		・2020(R2)年3月 東京オリンピック延期決定(2021年7月23日～) ・2月 新型コロナウイルスでクルーズ船が横浜港停泊 ・3月下旬～ 新型コロナウイルス第1波 ・4月7日 政府が新型コロナウイルスで1度目の緊急事態宣言発令(5月 解除) ・7月5日 東京都知事選挙 ・7月～8月 新型コロナウイルス第2波 ・8月28日 安倍総理が辞任表明 ・9月16日 菅内閣発足 ・11月1日 大阪都構想住民投票 ・11月上旬～ 新型コロナウイルス第3波	・2020(R2)年1月11日 台湾総統選挙 ・1月 中国の武漢で新型コロナウイルス発生 ・1月31日 イギリスがEU離脱 ・6月30日 中国で香港国家安全法案可決 ・11月3日 アメリカ大統領選挙(トランプVS バイデン) →トランプ再選ならず	・2020(R2)年6月 都市再生特別措置法等の一部を改正する法律制定(頻発・激甚化する自然災害に対応するとともに、まちなかにおけるにぎわいを創出するため、安全で魅力的なまちづくりの推進を図る) ・2020(R2)年6月 第10次地方分権一括法制定(都道府県から指定都市への事務・権限の移譲や地方公共団体に対する義務付け・枠付けの見直し等の関係法律の整備)	・ボン・ジュノ監督『パラサイト 半地下の家族』(19年)…米アカデミー賞最多4冠

2021 年(R3 年) 【72 歳】	・9 月 大腸ガンから丸 5 年 ー治療終了 ・一日一食主義ー体調良好に	・2021(R3)年 1 月 8 日～3 月 21 日 2 度目の緊急事態宣言 ・3 月下旬～ 新型コロナウイルス第 4 波 ・4 月 25 日～6 月 20 日 3 度目の緊急事態宣言 ・7 月 12 日～9 月 30 日 4 度目の緊急事態宣言 ・7 月 24 日～8 月 8 日 東京オリンピック開催 ・7 月下旬～ 新型コロナウイルス第 5 波 ・9 月 3 日 菅総理が辞任の意向 ・9 月 29 日 自民党総裁選挙 ・10 月 4 日 菅内閣総辞職 →岸田文雄が第 100 第内閣総理大臣に選出 ・10 月 31 日 衆議院議員総選挙 ・11 月 10 日 岸田総理が第 101 代内閣総理大臣に	・2021(R3)年 9 月 19 日 ロシア下院選挙 ・9 月 20 日 カナダ総選挙 ・9 月 20 日 香港政府トップの行政長官を選ぶ権限を持つ「選挙委員会（定数 1,500 人）」の委員選挙 ・9 月 26 日 ドイツ連邦議会選挙（総選挙） ・11 月 2 日 米バージニア州知事選 共和党逆転勝利	・2021(R3)年 5 月 災害対策基本法等の一部を改正する法律 ・5 月 特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律	・『ノマドランド』（21 年） 米アカデミー賞 3 部門、ヴェネツィア国際映画祭・金獅子賞 ・『ミナリ』（20 年） 米アカデミー賞助演女優賞、ゴールデングローブ賞・最優秀外国語映画賞
2022 年(R4 年) 【73 歳】	・11 月 胃ガンから丸 5 年 ・帝国ホテルフィットネスでのサウナ、水泳が定着	・2022(R4)年 1 月 17 日～6 月 15 日 通常国会 ・7 月上旬～ 新型コロナウイルス第 7 波 ・7 月 8 日 安倍晋三元総理 銃撃事件 ・7 月 10 日 参議院議員選挙 与党 146（自民 119（今回 63・非改選 56）・公明 27（今回 13・非改選 14）VS 野党 102 →衆参共に憲法改正発議に必要な 3 分の 2 以上の議席を獲得 ・9 月 27 日 安倍晋三元総理 国葬 ・10 月 3 日～ 臨時国会 ・10 月～ 自民党議員と旧統一教会との接点問題が急浮上 ・10 月～ 岸田内閣 閣僚の不祥事判明 山際大志郎経済再生担当大臣、葉梨康弘法務大臣、寺田稔総務大臣の 3 名が辞任（更迭） ・11 月上旬～ 新型コロナウイルス第 8 波 ・12 月 旧統一教会被害者保護法 成立 ・12 月 安全保障関連三文書改定 防衛費 GDP2% 5 年間で 43 兆円増額を決定	・2022(R4)年 2 月 4 日～ 北京冬季オリンピック ・2 月 24 日 ロシアによるウクライナ侵攻 ・3 月 9 日 韓国大統領選挙 尹錫悦が大統領に ・8 月 2 日、3 日 ペロシ下院議長が台湾訪問 ・8 月 30 日 ゴルバチョフ元大統領死去（91 歳） ・9 月 6 日 英・ジョンソン首相→リズ・トラス首相 →10 月 25 日 リシ・スナク首相 ・9 月 8 日 エリザベス女王死去（96 歳） ・9 月 29 日 日中国交正常化 50 周年 ・10 月 16 日～22 日 中国共産党第 20 回党大会（習近平 3 期目の国家主席に就任） ・10 月 22 日 伊・ジョルジャ・メローニ首相就任 ・10 月 29 日 韓国・梨泰院踩踏事故 ・11 月 3 日、4 日 G7 の外相会議（ドイツにて） ・11 月 8 日 アメリカ中間選挙 バイデン再選 “赤い波” は起きず 上院 共和党 51 VS 民主党 49 下院 共和党は過半数の 218 VS 民主党 209 ・11 月 14 日 米中首脳会談（パリ島にて） ・11 月 15 日、16 日 G20 サミット（バンコクにて） ・11 月 17 日 日中首脳会談（タイにて） ・11 月 18 日、19 日 APEC 首脳会談（パリにて） ・11 月 中国でゼロコロナ政策反対の “白紙革命” ・11 月 26 日 台湾統一地方選挙 民進党敗北 → 蔡英文総統は党首辞任 ・11 月 30 日 江沢民死去（96 歳）	・3 月 土地基本法等の一部を改正する法律 ・5 月 所有者不明土地対策特措法の一部を改正する法律 ・5 月 宅地造成等規制法等の一部を改正する法律（宅地造成等規制法→盛土規制法） ・6 月 重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律（重要土地規制法） ・12 月 国家安全保障戦略など安保 3 文書で、防衛力の抜本的強化	・『ドライブ・マイ・カー』（21 年）濱口竜介監督 米アカデミー賞国際長編映画賞受賞 カンヌ国際映画祭脚本賞受賞 ・『コーダ あいのうた』（21 年） 米アカデミー賞 3 部門（作品賞、助演男優賞、脚色賞）受賞 ・米国映画対決！ 『トップガン マーヴェリック』（米）、『1950 鋼の第 7 中隊（長津湖）』（中） ・『1950 鋼の第 7 中隊（長津湖）』（21 年）が興行収入記録更新（1135 億円）国威発揚戦争映画大作が大ヒット！
2023 年(R5 年) 【74 歳】	・1 月 『新旧対照・逐条解説 宅地造成及び特定盛土等規制法』（民事法研究会）を出版 ・2 月 民事法研究会発行の『市民と法』に論文「重要土地規制法の概要と同法が提起した論点あれこれ」を掲載予定	・2020 年 2 月～2023 年 5 月 コロナ禍、3 年余で終息（？） ・7 月 令和 5 年版防衛白書を閣議決定 ①中国軍とロシア軍の日本周辺の共同行動 →重大な懸念 ②中国と台湾との軍事バランスが、中国有利に「急速に傾斜する形で変化している」 ・6 月～ 大阪マルビル解体工事開始 ・11 月～ 自民党の政治資金パーティー収入の裏金問題発覚（政治とカネ問題） ⇒自民党とりわけ安倍派に激震（政治資金規正法の解釈は難しい。）	・8 月 19 日 キャンプ・デービッドで日米韓首脳会談。⇒軍事合同訓練活発化 ・8 月 中国の不動産下落、バブル崩壊（？） 中国恒大 赤字 12 兆円。米国で破産法の適用を申請 ・8 月 福島第一原発処理水の海洋放出開始 →中国が猛反発⇒核汚染水と主張 ・9 月 ウクライナ侵攻から 2 年半経過一混迷化 ・10 月 7 日 ハマスが 5000 発のロケット弾でイスラエルを攻撃（奇襲）、大量の人質を →反撃、当初は空爆、その後地上戦へ ・11 月中旬ガザでの地上戦激化ー人質解放は？停戦は？ ・11 月 15 日 米中首脳会談（バイデン×習近平） ・11 月 16 日 日中首脳会談（岸田×習）	・5 月 「宅地造成及び特定盛土等規制法」施行新政令、省令施行 ・6 月 空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律	・『エブリシング・エブリウェア・オール・アット・ワンス』（22 年）第 95 回アカデミー賞 7 冠！ ・5 月 第 76 回カンヌ国際映画祭で『パーフェクトデイズ』（23 年）の役所広司が主演男優入賞受賞 ・9 月 1 日 山田洋次監督（91 才）90 本目、吉永小百合（78 才）123 本目、『こんにちわ、母さん』公開 ・9 月 29 日『沈黙の艦隊』公開

2024 年(R6 年) 【75 歳】	・3 月末 弁護士 50 周年 ・5 月 25 日 50 周年記念懇親会を東京で開催！ ・2024 年 10 月 肺ガン手術(75 歳) (1 週間の入院で生還)	・1 月 1 日 能登半島地震 ・7 月 7 日 東京都知事選挙 小池 VS 蓮舫の女の戦い → 小池が当選 ・8 月 14 日 岸田総理が 9 月 29 日で総裁の任期満了→不出馬表明 ・9 月 29 日 自民党総裁選 立候補者 9 名 決戦投票は石破 215VS 高市 194 →石破茂が新総裁へ ・9 月 うめきた 2 期開業 (グラングリーン大阪) ・10 月 27 日 衆議院総選挙 自公過半数割れ 自民の不記載議員 12 人を非公認 ・11 月 11 日 石破第 2 次内閣発足 ・11 月 17 日 兵庫県知事選挙 告発文書を巡る問題、パワハラ、おねだり疑惑 → 不信任決議 → 知事失職 (9/30) → 知事選実施 (11/17) → 斎藤元彦知事再当選 → 公職選挙法違反勃発 ・11 月 28 日 臨時国会 予算編成 12 月末までに「政治資金規正法」の再改正	・1 月 13 日 台湾総統選挙。民進党・頼清徳氏 VS 国民党・侯友宜氏+台湾民衆党・柯文哲氏+鴻海創業者・郭台銘氏が無所属で出馬 ・11 月 5 日 アメリカ大統領選挙 トランプ圧勝、ハリス敗北。トリプルレッド達成 →3 週間で閣僚を確定 (MAGA ドリームチーム) ・11 月 27 日 イスラエルとヒズボラの停戦合意	・5 月 都市緑地法等の一部を改正する法律	・1 月 23 日 『オッペンハイマー』 (23 年) が第 96 回アカデミー賞において、13 部門でのノミネート ・6 月 16 日～20 日 上海旅行 小川夏果プロデューサー、伊地知拓郎監督の『郷 (ごう) 僕らの道しるべ』が出品されたため、上海国際映画祭に出席 ・9 月 11 日 新日本法規出版の「法苑 WEB」で始皇帝モノコラム(1)を公開 ・9 月 15 日 真田宏之主演の『SHOGUN 将軍』が、第 76 回プライムタイム・エミー賞で作品賞や主演男優賞など 25 の部門にノミネート ・『シビル・ウォー』公開 (11/5 の米国大統領選挙の直前に公開！)
2025 年(R7 年) 【76 歳】		・1 月 17 日 阪神・淡路大震災 30 周年 ・4 月 大阪万博開催 ・2025 年 IR 大阪夢洲で開業(?) ・2025 年 大阪都と特別区の実現(?)	・1 月 20 日 トランプ大統領就任式 → 直ちに「大統領令」に署名 → MAGA (Make America Great Again) 関税の実施 (日本製品に 10~20%、中国製品に 60%、台湾に侵攻した場合は 150~200%、メキシコ製品に 200%) → 世界はどう対応するのか？	2025 年=昭和 100 年=戦後 80 年 (cf. 1940. 12/8 日米開戦) 2024. 12/5 読売新聞・・・トピックス②	

2029 年(R10 年) 【80 歳・傘寿】			
2039 年(R20 年) 【90 歳・卒寿】			
2049 年(R30 年) 【100 歳・紀寿】		・2049 年 中華人民共和国 100 周年(中国がアメリカを凌駕？)	トピックス 郷 (ごう) 僕らの道しるべ 全国順次公開中 監督・脚本：伊地知拓郎 出演：瀧上岳、野口隆太郎、西郷マチュリ、蔵丸あみか、阿部集也、古矢航之介、松元裕樹、とめ貴志、千歳ふみ、小川夏果 プロデューサー：小川夏果 2024 年 / 日本 / 93 分 制作：Letheany&Co. 合同会社 / 文部科学省 選定映画 (令和 6 年 2 月認定) 映画から「いのち」を考える！ 忘れない、命の意味を！ その舞台は鹿児島！ —伊地知拓郎×小川夏果の北京電影学院コンビが完成させた本作に注目！— この描写・この撮影に驚愕！ 28 億円の製作費をかけた黒澤明監督の『乱』(84 年) の映像美は特筆もののだったが、本作に見る超高級機材を駆使した撮影技術と、命を冒した映像美はそれ以上！ 「戦争」と「童心」に続くその後の物語は難解だが、命の素晴らしさと走馬灯のように流れていく人生を実感！日本の若き才能の出現は三刀流の大谷翔平と福島の藤井聡太八冠が双璧だが、本作によって伊地知もその仲間！本作の製作理念は教育映画事業とマッチし、鹿児島県教育委員会の後援を得たが、全国での劇場公開のためには夏果プロデューサーの企画力と広報力も不可欠。さらにコロナ禍が収まり、中国からの訪日観光客の増大と新たな地方都市観光の発掘が望まれる昨今、タイトルも対見事な本作は中国人も必見！ 近時活躍が目立つ中国の若き才能者たる、第 8 世代監督としての作品比べ、才能比べも一興だ。

『日本と中国』 2024 年 4 月 1 日・No. 2287